



国民健康保険の広域化

松田 由雄

**問** 平成27年度から保険給付費全体が都道府県単位となり、自治体単独で不要不急の支出のための基金を準備する必要がなくなる。今ある基金を原資として国保料の引き下げを行うべきではないか。

**健康福祉部長** この基金は、感染症の流行等による支出の増、収納率の低下による給付金の補填ということ、今後の国保の広域化のために万全な体制で備えたいと思います。

**問** 部長が言ったことは、どこに書いてあるのか。広域化について、厚生労働省や県からそういう通達が出されたということか。

**健康福祉部長** 現在の話です。広域化後に各市町村において財調でそれに活用していくということは可能だと聞いています。国の考え方も示され、基金の使い道がないとなれば、その辺の有効活用をまた改めてその時点で検討したいと思います。

**問** 平成26年度末の基金残高は5億8780万4524円でいいか。

**健康福祉部長** その通りです。

**問** 最低でも1世帯当たり2万円は引き下げられると思うが見解を伺う。

**健康福祉部長** 保険料をどのくらい下げることができるか、すぐ試算はできませんが、まず、広域化のときに今の保険料が上がらないように、絶対にそれだけは避けたいと思います。

基金使って引き下げは

**問** 暮らしが大変な中でこそ、ぜひ基金を使って引き下げたいと思うが見解を伺う。

**市長** 市民の血税ですので最大限有効活用し、もしそうであれば、国の方針に基づいてしっかりと使わせていただくことになるかと思えます。

◎その他の一般質問

- ・ 地方創生
- ・ 市職員の人事評価制度
- ・ 市民課事務の一部業務委託



仙台北港民営化と地方創生

佐藤 淳一

**問** 県と交わってきた約束(覚書)は、民営化でどのようなものか。

**市長** 県に何度も確認しています。運営権者が変わっても約束は変わらないという返事です。

**問** 民営化成功のためには、(周辺)地域との良好な関係と発展がなければならぬ。選定企業・国・県からのアプローチはあるのか。

**市長** 具体的にはありませんが、さまざまな場で地域活性化の要望や意見を発信しています。

**問** 民営化はメリットもあるが生活環境の悪化などのデメリットもある。周辺地域(岩沼)の住民が納得できる民営化を進めてもらうべきではないか。

**市長** 乗降客が300万人から600万人に増えた場合の騒音については、国・県・運営企業に対策をお願いしていきます。

沿道サービス施設必要だ

**問** 創生総合戦略案の沿道サービス施設とはどのようなものか。

**市長** 空港周辺の活性化を考え、地場産品を販売する施設です。

**問** 民営化が生み出す新たな流れを、岩沼、東北の復興と地方創生に生かせるような、今までにない、厳選した最高のもの、東北の極めつけのおもてなしを提供する沿道サービス施設を検討してはどうか。

**総務部長** 民営化で空港内でも充実が図られると考えられますが、差別化を図り、そのような方向で検討したいと思います。

**問** 起業・創業を支援する取り組みを進めるべきと考えるがどうか。

**市民経済部長** 商工会、金融機関等と連携を図りながら、初期段階の創業支援に努めます。

**問** 企業の誘致ももちろん大切だが、(創業の)やる気のある人をサポートして既存企業の新陳代謝が効率良く行われるように後押しすることは、雇用やまちの活気に大きな影響があると考えるがどうか。

**市民経済部長** 市の創業支援計画を策定し、東北経済産業局への提出を準備しています。

◎その他の一般質問

- ・ イメージアップ戦略と地方創生